

子どもの貧困とグローバル教育

フードバンクと困窮者支援

特定非営利活動法人
とちぎボランティアネットワーク
フードバンク宇都宮

日本でフードバンクができた背景①

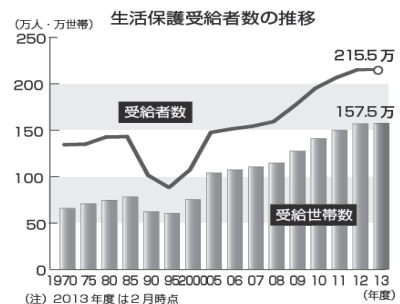
食品が大量
に捨てられて
いる。

800万t～500万t、捨てられています。

日本でフードバンクができた背景②

困窮している人
が増えている

日本に困窮者の増えている現実



フードバンクの定義

賞味期限や消費期限の残っている食品を無償で受取り、無償で困窮している人や、福祉施設などにお渡しする仕組みの事を言います。

つまり、食べて問題の無い食品を困っている人に無料でお渡しする組織。

※無償性がこの活動の特徴です。

フードバンク事業を開始

食べ物があれば何とかなる。の発想より

リーマンショックのころから、仕事と住居をなくす人の相談が増えた。

応急的に食べ物があれば何とかなるのではないかとの思いに、フードバンクを始めようと決意した。

2010年から本格的に準備を進め、東日本大震災が発生した時期にどさくさに紛れて、2011年に本格稼働となった。

フードバンクを入口にした 困窮者支援を実施

- ・2011年 ホームレス支援を皮切りに、困窮者支援を開始する。
- ・9月よりホームレスを対象とした、夜回りを行う。
- ・2012年 フードバンクに食品を求めに来た人に対し、相談をなんとなく開始する。
- ・ホームレスの生活保護の同行支援を行う。
- ・縁の切れた人に対し、倉庫を居場所として開放。

一般家族の困窮支援も始まる

- ・生活に困窮して、食品を求める家庭も増えていく。
- ・若い夫婦の家庭だと子供を抱えている家族が多い。中には虐待を受けている子供もいる中には発育が著しく未熟な場合もある。
- ・DV被害を受けて離婚した母子家庭も食品支援をすることがある。

栃木県フードバンク ネットワーク計画実施中

- ・2013年 フードバンク大田原支部
- ・2014年 フードバンク日光支部
フードバンク烏山支部(10月発足)
- ・今後の計画
栃木市付近に設置検討中
真岡市付近に設置検討中

フードバンクによる支援の課題

- ・食品支援が主体なので、家庭の中に入り込むことが困難。
- ・配送訪問だけでは、子供の存在が見えにくいことが多い。
- ・子供に接触して、健康状態などを確認することが難しい。(母子家庭においては、支援機関と繋がっていることが多い。)
- ・個人情報の壁が厚い

フードバンクの苦しい台所事情

- ・無償性ゆえに、事業において収益は基本的にゼロ、運営資金は寄付や助成金。
- ・フードバンクを知っている人が少ない。
- ・寄付という行為が、まだ一般的ではない。

だから

- ・寄付意識を変えて社会に有益な活動にお金を出す社会にしていく必要がある。

みなさまのご支援をお願いします

ご支援の例

1. 職場や仲間で食品をあつめフードバンクに寄贈する。
2. フードバンクのファンドレイジングイベントに参加する。
3. 寄付をする。(千円で一人4日分の支援が可能。)

web:tochigivnet.com mail:tvnet1995@ybb.ne.jp